

特定非営利活動法人(NPO法人)



日本フィジカルボイス協会

会報

第二号 (年四回発行)



# 「かのんの会」

( 歌 音 )

## 活動テーマ

私たちの活動のテーマは「声を通じて元気、笑顔、喜び」を共有することです。「声の練習」を通じて声の訓練をするのはもちろんの事、来てくださった皆様が笑顔になり、元気を手に入れて帰って頂くことが、私たちの目的であり喜びです。一人でも多くの方が「声の練習」を通じて、いつまでも若々しく健康でいていただけるよう、私たちも精一杯、活動に取り組みたいと思っています。

## 会の名称

「かのんの会」に決定！！  
( 歌 音 )

皆さまにご入会いただきました会は、NPO法人日本フィジカルボイス協会の活動のテーマに賛同しサポートして下さる年会員の方の集まりです。その会の名称が「かのん（歌音）の会」に決定いたしました。

かのん…カノンとは、主題（元になる旋律＝メロディーのこと）を模倣しながら後続の二つ以上の各声部が全く同じ旋律を次々に等しい感覚をおいて、順に模倣しながら追唱する歌唱法で、一般的には輪唱といえます。

英語ではCanon、ドイツ語ではKanon、イタリア語ではcanoneと書きます。その音に「歌音」という漢字をあてました。我々の活動の象徴でもある歌と音です。輪唱のように、皆さまの声を重ね、つなぎ合わせ、一つの大きな素晴らしい曲を奏でていきたいと考えています。現在「かのんの会」の会員は30名です。これからもたくさんの方と楽しみながら「声の健康づくり」を行っていきたく思っておりますので、よろしくお願いたします。

## ～会員特典～

1、「声の練習」が  
どこでも自由参加！

現在、  
本宿コミュニティセンター  
南町コミュニティセンター  
大沢コミュニティセンター  
で行っています！



2、イベントが割引価格！  
5月のコンサート、その他イベントを  
今後たくさん行います！

3、定期的に会報を配布！  
団体の活動状況を詳しくお伝えします！

4、会員限定イベントあり！  
会員の方、限定の企画も！

## イベント盛りだくさん！

さまざまなコラボレーション、特別レッスン、武蔵野公会堂コンサートと年末に向けて楽しいイベントが盛りだくさんです。会員ならではの特典もいっぱい！2011年は、たくさん参加して、たくさん元気になりましたよう！

第1回 NPO法人 日本フィジカルボイス協会企画

# ♪声のちからコンサート 2011. 5. 15

## <開催の報告>

当協会は、声を通じて「元気、笑顔、喜び」を共有するとともに、豊かな生活スタイルの実現を目指し活動しています。皆さまに楽しい一時をご提供できたらと考えております。企画第一弾として、このたび、「声のちからコンサート」を行いました。おかげさまで約170人の方々にご来場いただきました。初めての企画ということもあり会場整理や空調調整などご迷惑をおかけした点もあったかと思いますが今回の事を活かし、次回はより皆様に快適に楽しんでいただけるよう努めたいと思います。今後とも日本フィジカルボイス協会をよろしくお願いいたします。

## オープニング



まずは、オープニングアクト。『きゃすけっと』の皆さんが初舞台で緊張していたとは思えないくらい、素敵なハーモニーを披露してくれました。



コンサートを支えるスタッフ一同。この日の為、皆で一丸となりました。



会場は、熱気でむんむん！

## 第一部



JPVA理事でもある田中が第一部の司会を務めました。落ち着いた低いトーンで出演者絡みながら第一部をナビゲートしました。



第一部はアコースティックライブ。玉澤、金、榎本が早春賦、おぼろ月夜、ハナミズキ、夜来香を熱唱。



第一部フィナーレを飾った『ふるさと』観客の皆さんの歌声も混ざり会場全体が一つになりました。

ギター…久保（左）鶴島（右）

## 第二部



金さんとインリさんは中国民謡、『フーチーソワンソワンパーチャソファン』意味は、夫婦で仲良く。



第二部のスタートを飾ったボンアさん。韓国舞踊を披露。



二部の司会は伊達京子愛嬌のある司会で会場を和ませました。



バンド演奏がスタート！『L.O.V.E.』を歌い、会場を一気に盛り上げる。曲の途中には、『声の練習』も織り交ぜ、みんなで歌おう！のコーナーへの準備は整いました。



会場の全員で歌った、『川のながれのように』『亜麻色の髪乙女』お客様と一つになって大合唱！！



フィナーレは出演者全員ステージへ！



ありがとうございました！

## 皆様からの声

～アンケート集計より～

- ・歌だけではなく舞踊があり楽しめた
- ・悲しいニュースばかりだったけど元気が出た
- ・発声練習を入れた「遊び」の演出がよかった
- ・中国民謡がすばらしかった
- ・懐かしい曲がたくさん聴けてよかった
- ・グローバルでよかった

- ・室内が暑い
- ・時間通りに始めてほしい
- ・玉澤先生の歌がもっと聴きたかった

さまざまな貴重なご意見をありがとうございました。いただきましたご意見を参考に、よりよいイベントを提供できますよう努力いたします。

第1回『声のちからコンサート』に沢山のご来場を賜り、誠にありがとうございました。早いもので、あれからもう2ヵ月が経とうとしております。今回のコンサートはまず、協会設立に伴い会員になってくださった皆様への感謝、そして今後入会を希望される皆様との交流を趣旨に企画立案いたしました。ですが2月にNPO法人としての認可を受けた矢先の3月、かつてない規模の東日本大震災が起きました。この出来事を受けて、音楽に携わる私たちにも何かできることはないだろうかとの会議を重ねました。音楽は、そしてとりわけ歌というものは、明るい未来を信じるために必要不可欠なものだと、私自身常日頃から思っております。ひとりひとりの持つ声のちからは小さいかもしれないけれど私たちはそれを沢山の方々と共に大きく羽ばたかせる事ができるのではないかと考え、このコンサートを『声のちからコンサート』と名付けました。おかげさまでコンサートは無事開催まで至り、皆様の明るい声に包まれた最高のものとなりました。私自身ステージに立たせていただき、皆様の笑顔や歌う姿に大変感動をいただきました。歌いながら熱いものが込み上げてくるような瞬間が何度もあり、グッと堪えたのを今でも思い出します。今回のコンサートには、次回への課題も沢山あると思っております。協会全体としても、このコンサートを出発点として捉えながら、これからも皆様の笑顔そしてご健康な毎日への思いを忘れずに、活動していきたいと思っております。これからも私たちと一緒に元気に、声の練習・うたの練習をがんばっていきましょう！

今後とも日本フィジカルボイス協会をよろしく願います。  
第1回『声のちからコンサート』企画部長 榎本真紀

## 6月14日（火） 大沢公会堂 体験レッスンがありました！

三鷹市社会福祉協議会「ほのぼののネット活動」の一環で、三鷹市大沢地区の方々を対象とした懇親会で「声の練習」体験レッスンを行いました。「ほのぼののネット活動」とは一人住まいや自宅に籠りがちな高齢者などを、地域ネットワークを通じおこなう「見守り活動」です。

「声の練習」は初体験ということもあり最初は若干緊張気味でしたが・・・



後半から声を出すにつれて皆様の表情もほぐれ、最後は「故郷」を大熱唱！素敵な笑顔でいっぱいでした。

## シリーズ「声と健康」 ～脳回路の活性～

使い古しの酸素は常時肺の奥に残留しています。お腹で絞り出し、吐き切ることによって否が応でも反射的に新しい空気を吸い込みます。これが、呼吸法の原点です。十分な酸素が体中に巡り、特に吸い込んだ酸素の60～70%は、脳が必要としているのです。深い呼吸は、心の安定をもたらし、思考回路の活性化にも繋がるのです。

## 7月から「うたの練習」がはじまる！ 南町コミュニティーセンター

南町コミュニティーセンターでも「うたの練習」が始まります！お友達をお誘い合わせのうえ是非、ご参加ください。初回は「川の流れるように」です。一度練習された方も、復習しにいらっしやいませんか？

日程：第1、3火曜日（7/5、7/19）  
時間：「声の練習」10:00～10:50  
「うたの練習」11:00～12:00

## ☆りじちよ～のつぶやき☆ 2

4月22日に銀座シグナスでJAZZを歌いました。銀座のステージで、しかもSOLOでJAZZを歌うのは初めての事でした。JAZZの世界って改めて未知です。初めて会ったメンバーと簡単な音合わせ、打ち合わせだけで本番に挑むのですから。その時にしか創れない「音」を感じ楽しむ、それがJAZZなのです。本来ヴォーカルが用意しなければならない楽譜を大御所並みに私は手ぶらでいきました。それはそれは大変な騒ぎでした。ドラムの方はJAZZ歴40年の超ベテランですが、若手が楽譜を用意しないなんてありえない・・・みたことない・・・と、JAZZYなお叱りをうけました・・・。そんな伝説とともに手厳しい洗礼を受けまして、どうにか一夜を乗り切りました。これからも、楽しく、楽譜を忘れずJAZZとともに歩んでいきたいと思ひます。応援よろしくお願ひいたします。

<次回のお知らせ>  
8月26日（金）銀座シグナス



次回の会報は、10月を予定しています。お楽しみに。

<お問い合わせ> NPO法人 日本フィジカルボイス協会  
〒181-0001三鷹市井の頭4-16-6-104  
TEL: 070-6517-9799 (9～17時 土日を除く) FAX: 0422-29-9799  
E-Mail: info@npj-jpva.com

編集責任者：玉澤明人 編集：伊達京子